

市長と議長の新春対談



議長 私は「ふくし」です。「ふつうのくらしがしたい」という意味です。

昨年一年かけまして、市長の協力もいただきながら、副市長や教育長、それから福祉部の職員、県の相談所、社会福祉協議会、数々の民間の事業者の方々が集まり、どうしたら「ふくし」ができていくのかを役職から離れても考えました。

現在、社会福祉協議会が市庁舎の1階に福祉総合相談支援センターの開設に向け準備を進めています。ここに来ていただければ、悩みは全部

解決できる。こんな仕組みを作っていくことを進めています。

「ふくし」とはそんな難しい話ではなく、普通の暮らしがしたいだけです。同じ社会に生まれてきた以上、最終的な目標は親なきあと、保護者なきあとの、障がい児者が残ったあとの心配がございませぬので、そこまで解決できるように仕組みを作るため、議会と民間と市が一体となって、考えているところでございます。

市長がおっしゃられた、前人未到の高山市を築くとともに、身近な幸せも築いていきたいと考えています。

—お二方に今年の抱負を語っていただきました。どうも今回はありがとうございました。—

聞き手 高山市広報 中島芳彦
※なお、紙面の都合上、内容を一部省略し編集しております。



市では、ケーブルテレビを使って、市長や議長、副市長などが市政への思いや取り組みを語ったり、行政情報やイベントなどを紹介する「ハイ、市役所です」を放送しています。



月・火・水 ● 11:00 / 17:30 / 20:30 木・金 ● 12:30 / 18:30 / 22:30
土・日 ● 10:30 / 15:00 / 19:30

※なおインターネットでもご覧いただけます。 <http://www.city.takayama.lg.jp/net-tv/index.html>